

第五十一回帝國議會 衆議院

民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)外一件(民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)外一件委員會議錄(記)第二回)

會議

大正十五年三月十一日(木曜日)午前十一時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 齋藤 隆夫君

理事 磯部 尙君

理事 井坂 豐光君

理事 山口 政二君

高木益太郎君

平川松太郎君

廣瀨 德藏君

武富 濟君

黒住 成章君

渡邊 伍君

麓 純義君

禰 苗代君

清瀨 一郎君

三月十日委員横山勝太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ手代木隆吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 江木 翼君

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 本田 恒之君

司法書記官 長島 毅君

司法書記官 森田豊次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

民事訴訟法中改正法律施行法案(政府提出、貴族院送付)

齋藤委員長 是ヨリ民事訴訟法中改正法律案外一件ノ特別委員會ヲ開會致シマス、審議ノ方法ハ一ニ委員諸君多數ノ御希望ニ依テ定メラルコトニ致シマス、先ヅ第一ニ本案提出ニ關スル大體ノ意見ハ、本會議ニ於テ述べラレテ居リマスケレドモ、尙ホ委員諸君ニ於テ御希望ガゴザイマスナラバ、幸ニ司法大臣ノ御出席ガアリマスニ依テ、一應御聽キシタラ如何カト思ヒマスガ、ドウデゴザイマセウカ

者アリ

○江木國務大臣 本案ノ制定ニ關シマシテハ本會議ニ於テ大要説明致シマシタル通り、明治四十四年以來法律取調委員會ニ於テ、改正ノ事業ニ着手ヲ致シマシテ、其以前法典調査會ニ於テ公表致シマシタル草案ニ基イテ、更ニ裁判所、辯護士會及商業會議所等ノ意見ヲ徵シタル上、改正ノ審議ヲ進メタルデゴザイマス、斯様ニ致シマシテ本案ハ即チ學者、辯護士、裁判官等、學識經驗アル各方面ノ士ヨリ成リマスル所ノ委員會ニ於テ、慎重審議ヲ經テ提案ヲ致シタルデゴザイマス、而シテ右兩委員會ヲ通ジマシテ委員總會ヲ開キマス

ルコト六十四回、起草委員會ヲ開キマシタルコトガ實ニ四百三十四回ニ達シテ居ルノデアリマス、謂ハバ各方面ヨリ出タル民事訴訟ニ關シマスル專門家ガ、殆ド心血ヲ注イデ出來マシタ案ト申シテ宜シイノデゴザイマス、本案ノ編別ハ大體現行ノ民事訴訟法ノ例ニ據ツテ居ルノデゴザイマス、唯訴訟費用ノ規定ヲ當事者ノ章ヨリ分離致シマシテ別章ト致シマシタコト、ソレカラ判決ノ表題ヲ裁判ト改メマシテ、之ヲ第一審ノ訴訟手續ノ編ヨリ總則ノ編ニ移シマシタコト、及ビ督促手續ニ付キマシテハ之ヲ獨立ノ一編ト爲シマシタコトガ、編別改正ノ主ナル點デゴザイマス、尙ホ強制執行ノ手續ニ付キマシテハ、此手續ト裁判ノ手續トハ其趣ヲ異ニスルモノガアリマスルシ、且ツ競賣ノ手續ト離スベカラザル關係ヲ持ッテ居リマスルガ故ニ、共ニ特別ノ法規ヲ以テ律スルノヲ適當ト認メマシタルニ依リマシテ、強制執行ノ手續ニ關スル法規ノ改正ハ之ヲ分離シ、引續キ調査委員會ヲ設ケテ出來ルダケ速ニ其完成ヲ期シタイト思ウテ居ルノデゴザイマス、現行民事訴訟法改正ノ目的ハ既ニ本會議ニ於テ述べマシタ通り、主トシテ訴訟手續ノ延滞ヲ防止シ、且ツ裁判ノ適正ヲ期スルニ出タルモノデアリマ

シテ、其改正ノ要點ノ主ナルモノヲ舉ゲテ見マスレバ、第一現行法ニ於テハ專ラ當事者主義ヲ採用致シマシテ、訴訟手續ノ進行ノ如キモ、主トシテ當事者ノ意思ニ一任ヲ致シテ、私權ニ一任ヲシテ居ルノデアリマス、私權ノ保護ヲ目的トスル民事訴訟ニ於テ根本ノ原則ヲ爰ニ置キマシテ、當事者ノ意思ヲ尊重致シマスルコトハ固ヨリ當然デアリマスルケレドモ、一面ニ於キマシテ訴訟手續ガ圓滑迅速ニ進行スルヤ否ヤト云フコトハ、公益ニ關係致シマスルコト頗ル大ナルモノガアルト認メマシテ、或ル程度ニ於テハ職權主義ヲ加味スルコトガ實際上極メテ肝要デアリマスルコトハ、多年ノ經驗ニ照シテ明ナル所デアリマス、仍テ本案ニ於キマシテハ書類ノ送達、證據調及中斷シタル訴訟手續ノ續行等ニ付キマシテ、相當ノ程度ニ於キマシテ裁判所ノ職權ヲ擴張致シマシテ、職權主義ヲ併用致ス次第デアリマス、第二ニ現行法ニ於キマシテハ準備手續ハ例ヘバ計算事件ト云フガ如キ、極メテ特種ノ複雜ナル訴訟ニ限定ヲ致シテアルノデゴザイマスルケレドモ、本案ニ於キマシテハ地方裁判所ノ管轄ニ屬シマスル訴訟ニ付キマシテハ、原則トシテ準備手續ヲ採用スルコトト致シタルデアリマス、準備

手續ニ於キマシテハ受命判事ハ簡便ナル手續ニ依テ當事者ヲシテ事案ノ關係ヲ申述セシメ、之ニ基キマシテ相互ノ爭點ヲ明確ニシ、且ツ當事者ヲシテ其主張致シテ居リマスル所ノ爭點ニ對スル一切ノ證據方法ヲ申出デシメ、證人ノ呼出シ、書類ノ取寄セ等、證據調ノ準備ヲ整ヘ、斯クシテ準備手續ガ完結スルノヲ俟マシテ、逐次公判ヲ開廷致シテ、公判ニ於テハ成ベク接近シタル期日ヲ指定致シマシテ、其期日ニ於テ法律上ノ論議、事實上ノ調査、殊ニ證據調ヲ集中統一シ、以テ審理ノ適正ト、迅速ヲ期スル、斯様ナコトニシタイト云フ積リデアリマス、第三ニ、現行法ニ於ケル缺席手續ハ徒ニ訴訟手續ノ延滞ヲ來スモノガアリマスノデ、本案ハ之ヲ廢止致シタノデアリマス、而シテ當時者ノ一方ガ口頭辯論期日ニ出頭セザル場合ト雖モ、裁判所ハ出頭シタル當時者ニ辯論ヲ命ジテ、必要ナル證據ヲ取調ベ、對席判決ヲ爲スコトガ出來ルモノト致シタノデゴザイマス、第四ニ、現行法ハ總テノ訴訟法ニ付テ上訴ヲ認メテ居ルノデゴザイマスルガ、上訴ニ因リテ受クベキ利益ノ極メテ僅小ナル場合ニ於キマシテ、上訴ヲ許シマスルコトハ訴訟經濟上必シモ當ヲ得タルモノト認メラレナイノデゴザイマスル、ソレデ、本案ハ上訴ニ因リテ受クベキ利益ガ、一定ノ額ニ充タナイ場合ニ於キマシテハ上訴ヲ許サナイ、斯ウ云

フコトニ致シタノデゴザイマス、民事訴訟法中改正法律施行法案ノ主旨ハ大要以上舉ゲマシタ點ノ外ニ、尙ホ主要ナル點ト致シマシテ或ハ證書訴訟、或ハ爲替訴訟ノ廢止、其他管轄ニ關シマスル規定等々アリマスガ、尙ホ御質問ニ依リマシテ、政府委員等ヨリ説明ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、其法施行法ノ主旨ハ、單ニ新舊兩法ノ施行上ノ調和ヲ圖ルニ出デタニ過ギナイモノデアリマス、尙ホ此兩案中、貴族院ニ於キマシテ、條文ノ上カラ申シマスルト數十條ニ互テ居リマスルガ、修正ヲ致サレタノデアリマス、其一ニ二ノ擧ゲテ見マスルト、控訴ノ制限ノ額ヲ原案ニハ三百圓トシテアリマシタノヲ、二百圓ニ低下致シマシタ、當時者ノ僞宣誓ノ場合ニ於ケル過料ノ額ヲ原案ニハ千圓トアリマシタノヲ、五百圓ニ低下致シタト云フガ如キハ修正ノ主ナルモノデアッタノデアリマス、政府ニ於キマシテハ其修正ノ全部ニ對シテ同意ヲ表シタノデアリマス、尙ホ詳細ノ點ハ政府委員ヨリ説明ヲ隨時致サセマス、何卒十分御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○齋藤委員長 通告ノ順序ニ依テ質問願ヒマス、高木益太郎君

○高木委員 政府ハ此民事訴訟法ノ落著ニ付テ、民衆ノ力ヲ利用スルト云フ考ガアルカト云フ點ニ付テ伺ヒタイトデアリマス、既ニ刑事ニハ陪審制度ヲ大正十七年ヨリ實行シヤウト云フコト

ニナツテ居ルノデアリマスルガ、民事ニ於テモ陪審制度ヲ御設ケニナル御考ハナイノデアラウカ、本員等ガ屢英米、露西亞ノ裁判所ノ様子ヲ見ルト云フト、此陪審若クハ三審ノ利用ニ依テ、判決流ルルガ如クト申シテハ少シ言過ギルカモ知レマセヌガ、裁判ガ非常ニ早ク進行シテ居ル有様ヲ見テ羨シク思フノデアリマス、日本ガ既ニ民衆ノ力ヲ借りテ、刑事ニ於テ陪審制度ヲ用ユル以上ハ、民事ニモ用ヒナケレバナラヌ、何ガ故ニ民衆ノ力ヲ借りルコトヲ獨リ刑事ノミニ止メルノデアアルカ、何方ト言ヘバ刑事ヨリハ寧ロ民事ノ方が必要デアラウト思フノデアリマス、刑事ハ強盗ヲジタトカ、火ヲ放ケタトカ云フヤケナ比較的單純ナモノデアリマスガ、ソレデスラモ、御役人ダケデハイカヌト云フノデ、民衆ノ力ヲ借りナケレバナラヌト云フ以上ハ、民事ニ付テ陪審ヲ設ケルト云フコトハ當然ノ次第デハナイカ、現ニ其思想ノ一部ト云フモノハ借地借家調停法、又ハ一兩日前本院ノ委員會ヲ全會一致デ可決サレタ商事調停法、是等ハ一ツノ矢張民衆ノ力ヲ借りルモノデアアル、斯ウ云フ考ガ法案ノ上ニ現ハレテ居ル、調停仲裁バカリデナク、尙ホ進ンデ民間ノ生活問題ニ密接ナル關係ノアル者ヲ以テ、審判ニ參與セシムルト云フコトハ最モ必要デハナイカ、殊ニ損害賠償事件ノ數額ヲ決定スルト云フコトニ付テハ、民間

ノ人ノ力ガ最モ適當スルコトニナツテ居ルノデアリマスルガ、今迄ノ裁判所ハ往々此點ニ付テ遺憾ノアルコトガ少クナイノデアリマス、損害賠償ノ原因アリヤ否ヤト云フコトバカリデナク、ドノ位ノ損害賠償ヲ拂フコトガ適當デアリカト云フヤウナ事ニ付テハ、亞米利加邊リデハ頻ニ陪審ヲ利用シテ、其陪審ノ判斷ト云フモノハ最モ適當ナルコトヲ示シテ居ルヤウデアリマス、ソコデ、只今民事訴訟法ノ大修正ヲシヤウト云フ以上ハ、時代ノ要求ニ應ジタル此陪審制度ヲ矢張採用スルト云フコトハ當然デハナイカ、是ガ第一ノ御尋デアリマス、ソレカラ第二ハ既ニ調停法ガ本院ハ國民ノ歡迎スル案ト認メテ、黨派ノ如何ヲ問ハズ全會一致ヲ以テ委員會ハ可決シテ、最早本日程ニ上ツテ、多分是ハ一人ノ異議ナク本會ヲ通過スルコトデアラウト思ヒマスルガ、是ト同様ニ此交通ノ關係ニ故障ガ中ニ少クナイノデアリマス、例ヘバ交通機關ヲ發達ニ依テ電車、汽車、自動車、自轉車、斯ウ云フヤウナ事柄ニ關係シテ起ル所ノ事件ガ東京ダケデモ一年ニ數萬件アルノデアリマス、警視廳ノ示シテ居ル統計デ當局者モ御承知ニナツテ居ルコトデアラウト思フ、又例ヘバ大キイ問題デ云ヘバ曩ニ箱根デ電車ガ脱線ヲシマシテ十六人ノ死ンダガ出來、又重傷者モ少カラヌヤウデアリマス、斯ウ云フ問題ヲ一々普通ノ手續ニ依テ審判ヲスルト云

フコトハ、證據モ滅失ヲシマスシ、事ノ真相ヲ得ルト云フコトハ餘程困難デアラウ、是ニ於テ丁度商事調停法ノ特別ナル機關ヲ拵ヘタ如クニ、交通ノ事故ノ特別ナル裁判所ヲ設クルト云フコトハ必要デハナイカ、又此取引所或ハ市場、株ニ於テ、綿絲ニ於テ、米ニ於テ、魚ニ於テ、或ハ青物ニ付テ、是ハ餘程其途ノ事情ニ通ジタモノデナケレバ或ハ先物デアルトカ、中デアルトカ云フヤウナ、普通ノ人ハ言葉ノ意味デスラモ分ラヌヤウナ事ガアルノデアリマスカラシテ、是ハ平素取引所ノ事柄ヲ能ク研究シテ、事情ニ通ジタ人デナケレバ當事者モ紛争ノ衝點ヲ能ク捉ヘテ、適當ナル裁判ヲスルト云フコトハ餘程困難デアラウト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ問題ニ付テ特種ノ機關ヲ設クルト云フコトハ必要デハナイカ、又家庭ノ事故、或ハ夫婦喧嘩デアルトカ、親子喧嘩デアルトカ、親族ノ間ノ衝突デアルトカ云フヤウナ事柄ハ、之ヲ一般ノ訴訟手續ニ依ラズシテ、速ニ判斷ヲスルト云フコトガ必要デハナイカ、新聞紙ニ依ルト云フト家庭審判法ト云フモノハ當局ニ於テ既ニ起草セラレタト云フヤウナコトヲ聽イテ居リマスガ、是ハ何時頃御提案ニナル御考デアリマセウカ、是モ一ツ伺ッテ置キタイ、ソレカラ今迄裁判所ノ仕事ト云フモノハ多ク筆記ニ依ル所ノ記録ニ基イテ、文書ニ基イテ判斷ラシタノデアリマスガ、

今日「ラジオ」デアルトカ、或ハ活動寫真デアルトカ、或ハ蓄音機デアルトカ、色々機械ノ力ニ依テ真相ヲ穿ツ時代ニナツテ來テ居ル、殊ニ境界ノ争ヒ、或ハ其外ノ場合ニ寫真ノ利用ト云フモノガ餘程多クナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ又證人、參考人、鑑定人等ガ提供スルヤウナ書類ニ付テモ、之ヲ寫真デ撮ッテ置クト云フヤウナコトハ、證據調ノ上ニ於テ非常ニ便利デアラウト思フ、又例ヘバ長崎ニ居ル人ガ上告ノ爲ニ態々大審院ヘ出頭スル必要ハナイ、長崎ノ區裁判所ナラ區裁判所「ラジオ」ヲ利用シテ、東京ノ大審院ニ向ッテ上告審ノ辯明ヲシヤウト云フ時ニハ「ラジオ」ヲ利用シテヤルト云フコトデアアルナラバ、非常ニ訴訟ノ費用ヲ減ズルコトガ出來、又澤山ノ事件ヲ解決スルコトガ出來、兩方便利デアラウト思フ、文書デ事情ガ盡セヌ時ニハ左様ナ方法ヲ以テヤルト云フヤウナ事柄ガ、周圍ノ科學ノ發達ニ依テ訴訟法ノ從來ノ舊イ規程ト云フモノガ動カナケレバナラヌ時代デアハナイカト思フ、例ヘバ日本デハ裁判所デ以テ喚出シテ掛ケルト云ッタ所ガ、一々廷丁ガ辯護士ノ所ヘ行き、ソレカラ證人鑑定人ノ所ヘ呼ビニ行キ、ソレカラ判事ノ所ヘ行き、書記ノ所ヘ行ク、サウシテ或ル時刻ニ是ガズツト揃フト云フコトデアリマスガ、何カ電氣ノ作用カ何カデ以テ、一箇所デ以テ矢張全部ニ連絡ガ付キ、裁判ヘ同ジ時

刻ニ圖ラズ顔ヲ合スト云フヤウナ合ニスルコトガ出來ルノデアリマスカラシテ、機械力ノ利用ト云フコトヲ圖ラナケレバナラヌト云フコトハ問題デアラウト思フノデアリマス、隨テ此訴訟法ノ規程ノ中ニモ段々時代ノ進ムト共ニサウ云フヤウナモノヲ應用ガ出來ルト云フヤウナ規程ヲ設ケルト云フコトハ、最モ必要デハナイカ、殊ニ帝國議會ニ於テハ速記ニ依テ總テノ事柄ヲ記載シマスケレドモ、マダ裁判所ノ方ハ速記ヲ利用スルト云フコトガ全ク無イ、サウシテ豫審ナリ或ハ其他ノ取調ニ付テモ、一々判事ガ其要領ヲ自分ガ記憶シテ居ッテ、判事ガ書記ニ口示スルノデアリマス、當事者ノ言ッテ陳述ト記録サレタ書類トガ餘程喰ヒ違フコトガ少カラヌノデアリマス、速記者ノ利用ト云フコトモ亦是ハ新シイ問題デアハナイ、長イ間世間デ利用シテ居ルモノデアリナガラ、裁判所ノミガ此利用ニ付テ特別ナル規程ガ無イ、隨テ其速記ガドノ位ノ效力ヲ持ッカ——議會ニ於テハ速記ガ直ニ總テノ問題ヲ解決サレル材料ニナルノデアリマスケレドモ、民事訴訟ニハ口頭辯論調書ノミニ依テ法式ノ遵守ヲ證明スルト云フコトニナツテ居リマス、口頭辯論調書以外ニ速記ガアラウト其速記ハ何等ノ效ハ無イ、殆ド公ノ上ニ於テハ速記ト云フモノハマルデ認メラレテ居ナイノデアリマス、是ハドウモ餘程時勢後レノ法律デアラウ

ト考ヘル、是等ノ點ニ付テマダ中ニ世ノ中ハ進ンデ行キマスシ、此訴訟法ハ只今政府委員カラ受取りマシタ改正案理由書ニ付キマシテモ、明治二十八年ニ訴訟法ノ改正ニ着手シタノデアリマス、ソコ段々變遷ヲ經テ今日始メテ此委員會ニ於テ明治二十八年以來ノ問題ヲ解決スルト云フヤウナ譯デアリマス、必ズ此改正訴訟法モ一旦決メタ以上ハ改正スルト云フコトハ容易ナモノデナイ、何カ法文ノ上ニ時代ノ進運ニ應ジテ、サウ云フ機械力ナンカラ利用ガ出來ルヤウナ條文ヲ設ケルト云フコトガ必要デハナイカ、マダ吾々ガ知ラヌ事柄デ是カラ先キ或ハ醫學其他ノ方便ナ手段ガナイト云フコトハ出來ナイノデアリマス、是等ノ事ニ付テ包括的ノ條文ヲ御設ケニナル御考ガアリマセウカ如何デアリマセウカ、現ニ日本辯護士協會、並ニ東京辯護士會カラノ修正意見ノ中ニ、速記者ヲ利用スルト云フコトガ書イテアリマシテ、速記ニ付テハ特別ナル規定ヲ設ケテ貰ヒタイト云フヤウナコトガアリマス、單ニ速記バカリデアハナイ、電氣其他ノ發明ト云フモノハ餘程利用シテ宜イモノガアラウト思フ、證人ナリ參考人ナリヲ法廷ニ出サナケレバナラヌ場合モアル、併ナガラ必ズシモ法定ニ出ナクテモ簡單ナ事柄デ自分ノ内ノ帳簿ナラ帳簿ヲ見テ、ソレニ依テ答ノ出來ル時ニハ電話

デモ宜カラウト思フ、刑事ノ方デハ電
 話デ以テ或ハ檢事局ナリ其他ノ照會ニ
 對シテ答ヲスル場合ガアル、民事ノ方
 ニ於テハナイト云フコトハ一向譯ガ分
 ラヌコトデアアル、何カ其事柄ガ重大ナ
 事デアレバ、證人ナリ鑑定人ナリ參考
 人ガ法廷ニ出ルト云フ必要ガアリマス
 ケレドモ、何デモナイホンノ經過行途
 ダケヲ聞クヤウナ場合ニ、一々裁判所
 ニ之ヲ喚出シテ宣誓ノ上證言セシムル
 ト云フコトハ、多忙ナ商人ナドハ非常
 ニ困ル、例ヘバ幾日ノ社債ナリ公債ハ
 幾ラノ値段デアルカ、斯ウ云フヤウナ
 事ヲ聽ク場合ニハ、裁判所ガサウ云フ
 公債社債ヲ扱フ者ニ對シテ電話デ以テ
 何月何日ノ公債ノ相場ハ幾ラト云フコ
 トヲ聞ケバ、一方ハ帳簿ニ依テ其日ノ
 公債ノ賣買價格ハ幾ラデスト云フコト
 ヲ電話デ答ヘル、ソレヲ一方デ書記ガ
 録スル、ソレヲ直ニ證據ニシテモ差支
 ナイ、現ニ刑事ニ於テハ檢事ガ人ヲ起
 訴スル、或ハ人ヲ引括ル場合ニ、起訴
 狀若ハ勾引狀ヲ電信電話デ以テ之ヲヤ
 ルト云フコトハ中々多イ、サウ云フ人
 身ノ自由ニ影響ノアル起訴行為デア
 ルトカ、或ハ勾引スルトカ云フヤウナ事
 柄ニ對シテ電信電話ノ利用ガ出來ルノ
 ニ、民事ニ於テ或ル財産上ノ問題ニ付テ
 ノ相場ヲ聞クトカ、或ハ此邊ノ地代ハ
 幾ラガ宜カラウカト云フヤウナ簡單ナ
 事ヲ聞クノニ、必ズ本人ガ法廷ニ出テ
 宣誓ノ上ヤラナケレバナラヌト云フ事

ハ、ドウモ繁劇ノ今日ノ時代ニ於テハ
 迷惑千萬ナ事デアラウ、國民ノ義務ト
 ハ云ヘ、サウ鄭重ニシナクテモ宜イ事
 柄ト、鄭重ヲ要スル事柄トアル、事ノ輕
 重ニ依テ必ズシモ裁判所ニ之ヲ喚出ス
 ト云フ事柄ハ時代ノ狀態ニ應ジナイモ
 ノデハナイカ、是ハ物ノ真相ヲ得サヘ
 スレバ宜イデアツテ、其手續如何ハ問フ
 モノデハナイ、當事者モ異議ガナイ、裁
 判所モ亦電信電話デ宜シイト認メタ
 場合ニハ、サウ云フ方法デドン(一)事
 件ノ解決ヲ付クルト云フコトガ當然ナ
 事デハナイカ、何時モ古イ訴訟法ニ依
 テ必ズ證人鑑定人ガ法廷ニ出テ、判事
 ノ面前ニ於テ長イ間待タサレテ、宣誓
 ノ上陳述ヲ爲スト云フコトハ舊式ナ事
 デ、今日ノ狀況ニハ應ジナイ事デア
 ルウカト考ヘル、ソレ等ノ點ニ付テ根本
 的ニ思想ヲ變ヘルト云フコトガ當然デ
 ハナイカ、ソレカラ又僅ナコトデア
 マスケレドモ、證人ナリ鑑定人ナリガ
 裁判所ニ出マスト云フト、陳述ヲシテ、
 サウシテ其日當ヲ取ルト云フヤウナ場
 合ニ、更ニ又日當請求書ト云フモノヲ
 出ス、ソレカラ裁判所ニ決定シテ貰フ、
 ソレカラソレニ對シテ支拂命令ヲ貰
 フ、其支拂命令ヲ又日本銀行ニ持ッテ行
 ツテ受取ルト云フノデアアル、陳述ヲス
 ルト云フコトハ一日デ済ムケレドモ、
 日當ヲ貰フ爲ニ二日以上ヲ要スルコト
 ガ少クナイ、大抵ノ者ハ手續ノ煩勞ニ
 懲リテシマツテ、日當ノ請求ヲスル者ハ

甚ダ少イ、既ニ暇ヲ潰サセルト云フコ
 トガ氣ノ毒ナ上ニ、中カラ以下ノ人間
 ハ何等ノ報酬モ受ケズニ、何等ノ實費
 モ賠償ヲ受ケズシテ歸ラナケレバナラ
 スト云フコトニナルト、裁判所ト云フ
 モノヲドウ感ズルカ、非常ニ國民ニ迷
 惑ヲ與ヘル場所デアアル、斯ウ云フ感
 フ懷カセル、ソレモ其事件ノ當事者ナ
 ラバ已ムヲ得ヌケレドモ、當事者デモ
 何デモナイ人ヲ喚出シテ、國民ノ義務
 ナリトシテ證人ナリ、鑑定人ナリ、參考
 人ナリトシテ調べる、僅ナコトヲ聽イ
 テ、サウシテ其車馬賃モ拂ハナイ、假ニ
 拂フトシタ所ガ餘程ソレヲ受取ルニハ
 煩シイ手續ヲ要スルト云フヤウナコト
 ハ、今日ノ時代ニ於テ何トカ改良シナ
 ケレバナラヌ事柄デアアルト思フ、所ガ
 先進國ノ裁判所デハ證人ヲ取調ベルト
 云フト、裁判長ガ禮ヲ言ツテ、今日ハ多
 忙ナ所ヲ能ク來テ吳レテ洵ニ辱イ、直
 ニ其處デ以テ現金ヲ拂ッテヤルノデア
 ル、其處デ日當請求書ヲ出シ、支拂命令
 ヲ貰ッテ日本銀行ヘ取リニ行クト云フ
 ヤウナコトハアルモノデハナイ、如何
 ニモ簡單ニ濟ンデシマフ、然ラバ日本
 デ出來ナイカト云フニ、例ヘバ陸海軍
 ノ費用ト云フモノハ前拂ノコトガア
 ル、司法部デモ登記所ノ費用ハ前渡ニ
 ナツテ居ル、外務省ニ於テモ同様ナコト
 ガアルカラ、裁判所ニ證人トシテ喚出
 ス場合ニ判事ヲ信用シテ、若干日當ニ
 當ル金額位ヲ拂渡ガ出來ナイト云フコ

トハナイデアラウト思フ、非常ニ改正
 ヲ要スルコトデアアリマスガ、是ハ長イ
 問題デ今私等ガ初テ事新シク懇ヘルト
 云フヤウナコトハオカシイ位デアアル、
 サウ云フヤウナ點ニ付テ今度ノ訴訟法
 ハドウ云フ工合ニ御留意ニナツタノデ
 アリマスガ、實ハ江木司法大臣ニサウ
 云フコトヲ申上ゲルノハオカシイ譯デ
 アリマスケレドモ、明治二十八年以來
 實ハ此改正ニ着手シテ居ルガ、改正委
 員ノ顔振ヲ見ルト、裁判所ニ出入シ
 イ者ガ此法案ノ起草ニ關與シテ居ル、
 芝居ヲ見タコトノナイ者ニ芝居ノ話ガ
 出來ルカ、裁判所ニ來タコトノナイ人
 間ガ此法案ノ起草ニ關與スル、是ハ何
 ト言ツテ宜イカ、是ガ何方高尙ナ道理ヲ
 研究スルモノナラバ兎モ角、訴訟ノ手
 續ナンデアリマスカラ、簡便ニ迅速ニ
 早ク落着ヲ附ケサヘスレバ宜イ、所ガ
 一遍モ法廷ヘ出タコトノナイ人間ガ此
 法案ノ起草ニ——是ハ現内閣ガヤツタ
 譯デハナイガ、明治二十八年以來關係
 シテ居ル、私ハドンナモノガ出來ルカ
 ト思ツテ實ハ見テ居ツタノデアリマス、
 此内閣ニナツテ他ノ重要ナ法案ト共ニ
 此永イ間ノ懸案ヲ解決セラレルト云フ
 事ハ、洵ニ私ハ結構ナ事ダト思フ、今ノ
 點ニ付テ今度ノ改正法ハドウナツテ居
 リマセウカ、殊ニ日本辯護士協會、東京
 辯護士會カラ訴訟法二百九十五條ニ
 只今私ノ申シマシタ趣意ノ一部ヲ掲ゲ
 テ「證人ノ爲シタル行為ハ寫真又ハ著

音器其他適當ノ技術ヲ以テ保存スルコトヲ得、技術者ニ付テハ鑑定ノ規定ヲ準用ス、理由、第二百九十五條ニ依リ證人ヲシテ爲サシムル行爲ハ指紋ヲ捺捺スルコト、音聲ヲ發スルコト、特殊ノ舉動ヲ爲スコト等枚舉ニ違アラス、致底調査ノ記載ノミヲ以テ満足スヘキニアラス、仍テ之ヲ特殊ノ技術ヲ以テ保存シ、探證法ニ遺憾ナキヲ期セントス、斯ウ云フ説明マデヲ附ケテ、多分政府委員ノ御手許ヘハ日本辯護士協會及東京辯護士會カラ修正意見トシテ御廻シ申シテ居ル事デアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付テ政府ノ御考ハドウ云フモデアラウカ、尙ホ判事忌避ノ規定デアリマスガ、今日マデ明治二十三年ニ制定セラレタ民事訴訟法、其外治罪法、刑事訴訟法等ニ判事忌避ノ規定ガアリマスガ、忌避ガ立ツタ事ガアルカナイカト云フコトヲ見ルト、ドウモ吾々ノ寡聞ナル、忌避ノ申立ト云フモノガ立ツタコトヲ殆ド聞イタ事ガナイ、是ハ立ツタ例ガゴザイマセウカ、如何デアリマセウカ、司法省デ統計カ何カ御取リニナツタ事ガアルカドウカ、然ラバ判事ノ中ニ何カ疑ヲ懷ク原因ガ絕對ニナイカト云ヘバ、例ヘバ山口淳ノ如キ、帆足清萃ノ如キ、或ハ先頃モ長崎ノ控訴院ノ某判事ガ瀆職罪デ有罪ニサレタト云フヤウナ事モアル、多數ノ判事デアルカラ絕對ニ無イト云フコトハ斷言出來ナイ、ソコデ當事者カラ判事ノ取調ノ方

針ト云フモノガ公平ヲ缺ク、斯ウ云フ考デ辯護士ガ忌避ノ申立ヲスル、或ハ又審理中ニ豫斷ヲ表白スルト云フヤウナ事ガアルト云フト、訴訟ノ進行ハ出來ナイノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ忌避ノ申請ヲシタ時ニ立ツタ例ガアルダラウカ、立タヌモノトスレバ無駄ナ條文ヲ茲ニ唯陳列シテアルニ過ギナイ、幾ラヤッタ所ガ立ツタ事ガナイト云フコトデアレバ何モナラス、唯紙ノ上ニ忌避ノ規定ガアルダケデアッテ、事實上ニ於テハ當事者ノ申請ガ採用ニナラヌト云フコトデアレバ、何モナルモノデハナイ、然ルニ司法官ハ他ノ場合トハ違ッテ、潔癖ヲ貴ブモノデ、所謂李下ニ冠正シウセズデ、實際ニ瀆職ナリ或ハ偏頗ナル行爲ガ無クモ、世間カラ見テ是ハドウモ公平ヲ缺クモノダト疑フニ足ルベキ事情ガアル時ニハ、回避スルノガ當然デアアル、然ルニソレヲ回避シナイデ之ヲヤルト云フ場合ニ、當事者又ハ辯護士カラ之ヲ忌避スルト云フ事ハ當然ナ事デアアル、其忌避ノ問題ヲ判斷スルノニ、其一緒ニ居ル同僚ガ、而モ同ジ部ニ居ル所ノ同僚ガ判斷ヲスルト云フコトハ、是ハ人情上爲スヲ忍ビナイノデアリマス、ソレヲ矢張其ノ儘茲ニ規定シテ置イタノデハ、ドウモ今日民衆政治ノ時代ニ國民ノ常識ガ法律ニナル時代ニ、甚ダ時代後レノ威ヲ持ツ、私ハサウ云フ場合ニハ例ヘバ辯護士會長ガ之ヲ判斷スル、

辯護士會ノ無イト所ハ一ヶ所モナイノデアリマスカラ、所屬判事ニ公平ヲ缺クヤウナ疑ガアルト云フノデ、當事者又ハ辯護士カラ申請ガアッタ時ニハ、超然タル別ノ機關ガ之ヲ判斷スルト云フコトニシナケレバ、裁判所ノ同僚同士デアレバ互ニ之ヲ庇護スルカ、庇護シナイニシタ所ガ自分ノ同僚ニ對シテ忌避ノ原因ガアルト判斷スルト云フコトハ遠慮スル傾向ガアル、確ニソレハ統計ノ上ニ於テ恐ラクハ忌避ノ立ツタ例ト云フモノハ吾々聞カナイ、サウスレバ是ハ何か一ツ審判ノ公平ナル事ヲ保障スル一ツノ規定ヲ設ケルト云フコトハ當然ナ譯デハナカラウカト考ヘル、是等ノ點ニ付テ政府ハドウ云フ御考ヲ御持チデアリマセウカ、ソレカラ同時ニ伺ッテ置キタイノハ、是迄ノ裁判所ガ財產權ヲ保護シテドノ位實效ガアッタカ、民事訴訟ニ依テ裁判ヲヤッテ、其裁判ノ結果ドノ位執行ガ出來タカ、例ヘバ茲ニ五億圓ナラ五億圓ノ財產權ヲ保護シテアル、然ルニ是ガ執達吏ヲ以テ強制執行ヲヤッテ見ルト一億五千萬圓ダケハ取立ガ出來タガ、アト三億五千萬圓ト云フモノハ裁判ガ執行出來ナイ、即チ司法權ノ働キニ依テ國民ノ財產權ト云フモノヲドノ位保護サレテ居ルカ、是ガ訴訟法ノ一番肝要ナ目的デアラウト思フ、其目的ト云フモノハドノ位實現セラレテ居ルカ、成程裁判ヲ起シタ時カラ落着シタ時迄ノ期間ニ付テノ表

ハ頂戴シテ居リマスケレドモ、其期間以內ニ實行ガ出來タノガドノ位デアアルカ、斯ウ云フ事ガ國民ノ知ラント欲スル所デアリマス、是ハ凡ソデ宜シイ、一ケ年ニ何億圓ノ訴訟ガ起ッテ、ソレニ對シテ印紙ヲ幾ラ貼ラシテ、國家ハソレニ對シテ裁判ヲシテ、結局執達吏ニ依テ國家ノ裁判ト云フモノガドノ位實行出來タカ、即チ取立ハドノ位得ラレタカ、斯ウ云フ事ヲ大體ニ於テ説明ヲ仰ギタイト思フ

○江木國務大臣 只今高木君ノ御質問ハ頗ル廣汎ニ互テ居リマシテ、多年ノ御經驗ニ依リマス専門ノ事柄ガ非常ニ多イノデアリマス、私ガ御答ヲ致スノデハ却テ便利デナイ事柄ガ多イト思ヒマスノデ、重要ナル部分ニ付テ私ヨリ御答致シマシテ、而シテ其他ノ點ニ付キマシテハ政府委員ヨリ御答スルコトニ致シタイト思ヒマス、爭訟等ノ事柄ニ付キマシテ國民ノ力ヲ藉リルト云フ點ニ付キマシテハ、御説ノ點ハ主義トシテ大變ニ宜イコトダト思ヒマスノデ、全然贊意ヲ表スルノデアリマス、今日既ニ小作ニ付キマシテハ小作爭議調停ト云フモノガ出來、之ニハ調停主任ノ外ニ調停委員ト云フモノヲ民間ヨリ採リマシテ、小作土地制度ト云フモノニ知識ヲ持チ、且ツ其土地ニ特有ナル知識經驗ヲ持ッテ居リマスル人ヲ特ニ調査委員ニ致シマシテ、サウシテ調停決定ヲ爲サシムル、斯ウ云フ制度ガ出來

テ居ルノデアリマス、ソレカラ借地、借家ニ付キマシテ、御説ニモアリマシタ通り、大キナ市街地ニ於テハ之ヲ實行致シマシテ、非常ニ好イ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、而シテ是ガ實行ニ付キマシテモ成ベク調停主任ハ自ら指導ノ態度ヲ執ラズ、成ベク此調停委員ノ意思ノ表示ニ依リマシテ、公正ナル決定ニ到達スルヤウニ仕向ケルト云フ方針ニ致シテ居リマシテ、非常ニ好キ成績ヲ擧ゲテ居ルト思フノデアリマス、今回商事調停ニ付キマシテモ、既ニ委員會ハ全會一致ノ御決定ニ至ツタト云フヤウナ次第デ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、所謂普通ノ常識ヲ以テ争訟調停ヲ爲スト云フコトハ洵ニ適當ナコトデアルト認メテ居ルノデアリマス、而シテ斯ノ如キ方法ヲ民事裁判ニ用ヒテ、而シテ民事裁判ニ付テ、或ハ事實ノ決定、或ハ法律ノ適用マデ進ンデ、陪審制度ヲ用ヒルガ宜イデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、十分民事訴訟法ノ案ヲ公表サレマシタ時ニ多少左様ナ意向ガ或一部カラ出テ居ラヌデハナカッタヤウデマリマシタ、英吉利等ニ於キマシテ、長イ間民事ニモ「デユリ」ノ制度ヲ採ッテ居リマスルノヲ、日本ニ移シテモ宜イデハナイカト云フヤウナ意見ガナイデハアリマセヌノデアリマシタガ、大體ニ於キマシテ今日民事ノ争訟ニ付キマシテハ、御互ニ當事者ノ主張ト云フモノヲ十分ニ闘ハシテ、而シ

テ其當事者ノ主張デ結局裁判官ガ裁判ヲシナケレバナラヌ點ヲ裁判官ノ判斷ニ求メルト云フ、當事者ヲ縦トシテ居ル所ノ主義ヲ採ッテ居ルノデアリマシテ、一般ノ法曹社會其他ニ於キマシテモ民事ノ裁判マデ陪審ノ制度ヲ用ヒルト云フコトハ、ドウモ多クノ意見デナサウニ見エルノデアリマシテ、今回ノ訟訟法ノ改正ニ付キマシテハ其點ハ用ヒナカッタノデアリマス、ソレカラ第二段ニ御述べニナリマシタ如ク、調停ノ事項ト云フモノヲ成ベク廣クシテ、サウシテ社會ノ通念ニ法律其他ノ争訟事件ヲ裁判セシムルト云フ途ニ出デタト云フコトハ、事柄ヲ迅速ニ、適正ニ始末ヲ付ケマス上ニ付キマシテモ、頗ル必要ナコトト思ヒマスノデ、是ハ所謂調停法ト云フ方面ニ於キマシテ用ヒタイト政府ニ於テハ考ヘテ居ルノデアリマス、既ニ今回ノ議會ニ商事調停法案ヲ出シ、又勞働争義ニ付キマシテハ勞働争議ノ調停法案ヲ出シテ居ルト云フヤウナ次第デゴザイマシテ、漸次此方法ヲ擴ゲルト云フコトハ餘程好キ結果ヲ收メルモノデアラウト信ジテ居ルノデアリマス、第二段ノ商事調停ハ既ニ委員會ノ決定ヲ經タガ、斯ルモノヲ交通ノ事件等ニ付テ擴張スルノガ必要デハナイカト高木君ハ御述ニナリマシタガ、交通ニ關スル事故ハ非常ニ多イノデアリマス、而シテ必ズヤ此交通ニ關スル事故ガムズカシイ法律問題ヲ包含

シテ居ルモノガ多イトモ認メラレナイノデアリマス、電車ト人力車ガ衝突シタトカ、自働車ト電車ガ衝突シタトカ云フガ如キ問題ニ付キマシテハ、全ク常識デ——社會ノ通念デ以テ判斷ヲシテ宜キ事項ガ多イト思ハレルノデアリマス、左様ナ事柄ニ付キマシテモ或ハ民事ノ調停手續ト云フモノヲ拵ヘルノガ便利デアルカモ知レヌト思フノデゴザイマスガ、實ハ斯様ナ案ヲ來シマスニモ相當詳密ナ調査ヲ遂ゲマシテ、サウシテ之ヲ實行スレバ必ズ斯様ナ成績ヲ擧ゲ得ルト云フ大體ノ信念ガ出來マシタ所デ、漸次案ヲ立テタイト云フヤウナ方針ヲ以テマシテ、先ヅ借地、借家ヨリ始メ、小作及商事ニ及ビ、勞働争義ニ及ブ——勞働争義ハ裁判所ノ方ハ關係ゴザイマセヌガ、及ブト云フヤウナ工合ニ段々其途ヲ擴ゲタイト云フ趣旨デ提案ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、マダ目下ノ所デ商事以外ニ他ノ民事ニ付キマシテ調停法案ヲ作ラウト云フ段取ニハナツテ居リマセヌガ、高木君ノ暗示ハ洵ニ適當ナ暗示ト思ヒマスノデ、漸次之ヲ調査致シマシテ、適當ト認メル場合ニ於キマシテハ、提案ヲスル運ビニ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ取引所及市場等ニ對シマシテモ同様ノ機關ガアツテ宜イデハナイカ、取引所及市場ノ取引ニ付キマシテハ、或場合ニハ是ハ所謂商事ト認ムベキモノガ

アルノダラウト思フノデアリマス、ソレハ自ら今回ノ商事調停法ニ依リマシテ、調停手續ガ進行シ得ルコトデアラウト思フノデアリマス、其他ノ點ニ付キマシテ特別ノ機關ヲ設ケル必要アリヤ否ヤト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、相當調査ヲ要スルコトト思フノデアリマシテ、只今直グ左様ナ機關ヲ設ケル意思アリト云フコトヲ明言スル譯ニハ參ラヌノデアリマス、ソレカラ家庭ノ事項ニ付キマシテ特別ノ機關ニ依テ裁判ヲスルコトガ適當デアル、此事ハ洵ニ御尤デアリマシテ、此點ニ付テハ既ニ法制審議會ノ方ハ家事審判所ナルモノノ創設及其手續ヲ制定致シマスコトガ諮問ニナツテ居リマシテ、將ニ法制審議會ニ於テ審議セラレムトスル状態ニナツテ居ルノデアリマス、固ヨリ家事審判所ニ付キマシテハ民法ノ親族篇、相續篇等ノ關係モアルコトデゴザイマスカラ自然此法ノ改正ト相伴フト云フ結果ニナリマセウト思ヒマスノデ、之ヲ次ノ議會ニ出スト云フ如キ御約束ヲ今日申上ゲル程度ニハ進マヌト思ヒマスガ、兎ニ角既ニ綱領ハソレゾ編成サレ、審議ニ附セラレテ居ル、斯ウ云フ状態デゴザイマスノデ、左様御承知ヲ願ヒタイトデアリマス、ソレカラ裁判所ガ裁判ヲ致ス材料ト致シマシテ、各種ノ文明的ノ機關、其他ノ力ヲ應用スルコトガ適當デハナイカ、殊ニ寫真デアルトカ、或ハ活動寫真、速記若ク

ハ蓄音機ト云フガ如キモノヲ應用スルノ餘地ガ十分アルデハナイカト云フヤウナ御話ガアリマシテ、意見ヲ求メラレタノデアリマスガ、是ハ私ハ裁判所内ニ於ケル手續ト致シマシテ、即チ非常ニ事ノ明確、確實ヲ期スル上ニ於キマシテ直ニ「ラデオ」トカ、或ハ蓄音機トカ云フモノガ利用ガ出來マスカ、ドウデアリマスカ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ寧ロ多年サウ云フコトニ關係ノアル政府委員ヨリ御答辯ヲ致サセマシタ方ガ適當デアルカト思フデアリマス、ソレカラ證人鑑定人ノ日當ノコトニ付キマシテ、些細ノヤウナコトデア

ト云フコトデアリマスレバ、其機會ニ致シタイト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

ノ受持ニナツテ居ルト云フヤウナ次第ニ、此配付サレタ書類等ニ依テ私共ハ察スルノデアリマス、又此事ニ付テハ私共英國ノ制度等ヲ或機會ニ研究シタ際ニモ左様ニ承知シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラドウシテモ此準備手續訴訟ヲ十分ニ敏速ニヤルト云フ主義事トカ、或ハ受命判事デモ宜シイガ、宜シク此構成員ノ中ノ、其以外ノ者ニ專任者ヲ置イテ、準備手續ヲシナケレバ、到底本法ニ豫想スルヤウナ準備ノ手續ハ完全ニ出來ナカラウト思フノデアリマスガ、政府ニ於キマシテハハドウ云フ方法ニ依テ完全ニ御運用ニナル御考デアリマスカ、此點ヲ承リタイノデアリマス

シテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○高木委員 甚ダ御親切ナ御答ヲ得マシテ満足致シマスガ、一ツ仰セノ如ク御調ベヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ此民事訴訟法改正案ニ對スル修正意見トシテ日本辯護士協會、東京辯護士協會等カラ印刷物ガ來テ、政府委員ノ御手許ヘモ行ッテ居リマスガ、此辯護士會ガ政府ニ對シテ質問スルト云フコトハ出來ナイノデアリマスカラ——ト云フテ私ガ代人ニナルノモオカシイデスガ、兎ニ角民間ノ有力ナル團體カラ斯ウ云フ修正意見ガ出テ居リマス、此修正意見ヲ假ニ吾々共ガ政府ニ質問シタモノト致シマシテ、政府委員カラ此各項目ニ付テ只今デナクテモ、明日デモ明後日デモ、能ク御覽ニナリマシラ、此修正ノ項目ニ同意ノ出來ル點、同意ノ出來ヌ點、又同意出來ヌノハドウ云フ譯カト云フ御答ヲ願ヒタイ

ハ人ハ減シテモ決シテ増スヤウナ御心配ハナイ、斯ウ言ハレタノデアリマスガ、併ナガラ若モ之ヲ所謂構成ヲヤツテ居ル部員ノ主任者ト云フヤウナ者ガ、矢張此準備ノ受命判事トナツテヤルト云フコトニナリマシタナラバ、是ハ決シテ本法ニ豫想シ得ルヤウナ綿密ナ準備ハ出來ナカラウト思フ、此二百四十九條ノ但書ニ書カレタ裁判所ノ中デハ兎モ角モヤリマセウガ、結局ハ是ハ準備ノ必要ガナイト云フヤウナ認定ノ下ニ準備ト云フモノガ有名無實デ、行ハレナイ事ニナリハセウカト心配致スノデアリマス、手許ヘ御配リ下サツタ英國ノ制度等ニ於キマシテモ、矢張主事ト云フモノガ殆ド此認廷以外ニ於ケル準備

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○谷原委員 私ハ此準備手續ノ點ニ付テ先ツ簡單ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、曩ニ刑事訴訟法ガ實施サレマシテ、準備手續ト云フモノモ矢張其當時ハ或ル期間併合サレマシテ、別ニ所謂主任

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

ルガト云フ意味デ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一見些細ノ如キモノデアリマシテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○江木國務大臣 辯護士會ニ依テ提出サレタ修正意見ニ付テ司法當局ノ意見ヲ説明ヲセヨト云フコトハ、貴族院ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ適當ナ機會ニ於テ何時デモ申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

ルガト云フ意味デ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一見些細ノ如キモノデアリマシテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○江木國務大臣 辯護士會ニ依テ提出サレタ修正意見ニ付テ司法當局ノ意見ヲ説明ヲセヨト云フコトハ、貴族院ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ適當ナ機會ニ於テ何時デモ申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

ルガト云フ意味デ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一見些細ノ如キモノデアリマシテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○江木國務大臣 辯護士會ニ依テ提出サレタ修正意見ニ付テ司法當局ノ意見ヲ説明ヲセヨト云フコトハ、貴族院ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ適當ナ機會ニ於テ何時デモ申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

ルガト云フ意味デ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一見些細ノ如キモノデアリマシテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○江木國務大臣 辯護士會ニ依テ提出サレタ修正意見ニ付テ司法當局ノ意見ヲ説明ヲセヨト云フコトハ、貴族院ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ適當ナ機會ニ於テ何時デモ申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

ルガト云フ意味デ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一見些細ノ如キモノデアリマシテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○江木國務大臣 辯護士會ニ依テ提出サレタ修正意見ニ付テ司法當局ノ意見ヲ説明ヲセヨト云フコトハ、貴族院ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ適當ナ機會ニ於テ何時デモ申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

ルガト云フ意味デ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一見些細ノ如キモノデアリマシテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○江木國務大臣 辯護士會ニ依テ提出サレタ修正意見ニ付テ司法當局ノ意見ヲ説明ヲセヨト云フコトハ、貴族院ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ適當ナ機會ニ於テ何時デモ申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

ルガト云フ意味デ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一見些細ノ如キモノデアリマシテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○江木國務大臣 辯護士會ニ依テ提出サレタ修正意見ニ付テ司法當局ノ意見ヲ説明ヲセヨト云フコトハ、貴族院ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ適當ナ機會ニ於テ何時デモ申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

ルガト云フ意味デ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一見些細ノ如キモノデアリマシテ實ハ重要ナ點デアアルノデアリマス、御説ノ如キ點、手續ガ如何ユモ煩雜デアルト云フコトハ、私只今承リマシテ洵ニ御尤ト思ッテ居リマス、是ハ訴訟法ノ規定トハ直接ニ關係ハナイノデア

○江木國務大臣 辯護士會ニ依テ提出サレタ修正意見ニ付テ司法當局ノ意見ヲ説明ヲセヨト云フコトハ、貴族院ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ適當ナ機會ニ於テ何時デモ申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス

者ト云フモノヲ置カズシテ、其部員ノ中ノ主任者ト云フヤウナ者、或ハ裁判長トナルベキ者ガ矢張此準備ノ主任トナツテヤツテ居リマシタガ、人ニハ自ラ能力ニ限りモアリ、今日ニ於キマシテハ私共ノ知ル所デハ殆ド此準備手續ト云フモノハ實行サレテ居ナイ唯證人ノ申出ノ採否位ニ止ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、其點ヲ吾々職務上ノ經驗カラ考ヘマシテ、過般豫算ノ總會ニ於キマシテ其點ヲ此民訴ノ實施ニ關

○江木國務大臣 準備手續ノ點ハ本案改正ノ骨子中ノ骨子トモ言フベキモノデアリマシテ、一番大事ナ點デアルト思フノデアリマス、御説ノ通り刑事訴訟法ノ改正ニ依リマシテ、刑事手續ニ於テモ此點ヲ廣ク用キルト云フノデアリマスガ、是ハ或ハ實行ガ鈍イデハナイカ、隨テ之ヲ民事ニ用キタ所ガ十分行カナイデハアルマイカト云フ御懸念デアリマスガ、刑事ノ方ニ付キマシテ、裁判所方面ヲ司法當局ヨリ視察サセマシタ者ノ報告ニ依リマス、相當ニ此準備手續ト云フモノガ漸次慣用セラレルヤウニ進ンデ居ルヤウデアリマス、比

較的新ラシキ手續デアリマスルガ故ニ、或ハ法ヲ執リマスル者ハ此精神ヲ十分ニ吞込マナイ場合ニ於テハ、是ガ實行ニ際シテ慣熟ヲ致サナイト云フ憂ガナイトモ限ラヌノデアリマス、刑事ニ付キマシテハ、漸次法ノ目的ニ到達シテ居ルト云フ報告ヲ各地カラ得テ居ルノデアリマス、或ハ民事ノ訴訟ニ付キマシテモ、之ニ特別ノ人ヲ置クトカシナケレバ十分デナイノデハナイカ、是

モ一應御尤ノ御質問ト思フノデアリマス、是ハ申スマデモナク今マデノ訴訟法ハ大體獨逸ノ舊法ノ式ニ依リマシテ、何處マデモ口頭辯論、公判廷ニ於テ當事者ノ双方ノ申立ヲ聞キ、有ユル防禦ノ方法ヲ公判廷ニ於テ陳述セシメルト云フ、極メテ今日カラ考ヘルト臆劫ナ手續ヲ執ッテ居ッタノデアリマスガ、今回ハ受命判事ヲシテ、準備手續ニ於テ有ユル攻撃、防禦ノ證據ヲ提出セシムル、此點ニ於テハ私自身ト致シマシテハ、殆ド此民事訴訟ノ手續ニ付テハ根本的ノ改正デアルト思フノデアリマス、付キマシテハ此民事訴訟法ノ改正案ハ之ヲ大正十七年中ニ施行致シタイト思フノデアリマスガ、其施行マデ一年半ナリ二年アリマスル、此期間ニ十分此準備手續ナリ其他ノ改正條項ガ各判事ニ徹底スルヤウニ有ユル努力ヲ司法當局ニ於テ拂フ積リデアリマス、サウシテ此改正法ノ趣旨ガ十分徹底シテ、サウシテ原則トシテ地方裁判所ノ手續

ニ於テハ、準備手續ヲ用キルモノデアルト云フコトガ分リマスレバ、自ラ此施行ト云フモノガ滑カニ行クモノデアラウ、特ニ別ニ増員ヲ致サヌデモ十分ニ間ニ合ッテ行クデアラウ、判事ノ此新法ニ對スル準備、理解ト云フコトノ養成ニ付テハ最大ノ努力ヲ拂ッテ徹底シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、必ズ其目的ヲ達シ得ルト信ジテ居ルノデアリマス

相當ニ多イノデアリマス、此分ニ付キマシテハ特別訴訟手續ヲ認ムル必要ハナイデアラウ、是ハ實務ニ御當リノ方ハ御存知ノ通り、多ク爲替訴訟ノ場合ハ金ガナクテ拂ヘナイト云フ場合ガ非常ニ多イノデ、此分ハ缺席判決ニナッテ居リマスガ、此分ニ付テハ特殊ノ手續ハ要ラナイト云フ風ニ考ヘラレマス、ソレカラ缺席判決ニ依ラズシテ終結シテ居リマスモノヲ見マス、通常訴訟カラ見マス、其結果ハ早クナッテ居リマスガ、終局判決ガ延ルト通常訴訟ト餘リ違ヒガナイ、結局ソレデ缺席ノ分ハ特殊ノ手續ヲ執ル必要ハナイデアラウシ、サウデナイ分デアリマス、餘リニ證書訴訟、爲替訴訟トシテハ敏速手續ノ效果ガ現ハレテ來ナイ、尙ホ其上ニ少シムツカシイ事件ニナリマス、通常訴訟ニ引直サレル、表ノ上カラ見テ居リマス、殊ニ少シムツカシイヤウナ、自立ツヤウナモノハ通常訴訟ニ引直サレテシマフ、サウスルト此點ニ付テ爲替訴訟、證書訴訟ノ效果ハ無イト云フコトニナリマス、又假ニ引直サレナイト、是ガ結審致シマシテモ、通常訴訟ニ於ケル權利ノ留保ガアリマスカラ、其方デ權利ガ不確定ニナッテ居リマスノデ、是ハ勝訴判決ヲ得テモ甚ダ不安ノ状態ニ置カレテ居ルコトデアリマ

○谷原委員 事實ノ點ニ付テ吾々ノ見聞ト大ニ違フ所ガアリマスルガ、是レ以上ハ意見ニ互リマスカラ此點ハ止メテ置キマス、次ニ此爲替訴訟等ヲ削除シタ點ニ付テ一寸伺ヒタイノデアリマ

スガ、是ハ本會議ニ於テ黒住君カラ熱心ナル質問ガアリマシタガ、ドウモ御答ノ點ニ於テ私多少十分ナル諒解ヲ缺イタコトガアリマス、重複ノヤウデアリマスケレドモ、簡單ニ御伺ヒシタイノデアリマス、詰リ此爲替即チ手形類ガ取引市場ニ於テ敏速ニ流通スルト云フコトハ、是ハ取引界ノ取引行爲ヲ敏活ニ結了サスト云フ上ニ於キマシテ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルコトト

思ヒマスガ、ソレ故ニ舊法ニ於テ特別ナ訴訟ヲ認メテ居ッタト思フノデアリマス、又實際ノ運用ノ上ニ於キマシテモ、爲替訴訟ノ如キハ、或雜誌ニ東京ノ地方裁判所長ナドガ統計ノ數字マデ舉ゲテ示シテアル如ク随分實効ガ舉ッテ居ルノデアリマス、今之ヲ廢シテ普通

ノ手續ニ依リ、而モ金額ノ如キモノニ付キマシテハ、今司法大臣ノ述べラレアル所ニ依リマス、假令爲替訴訟ノヤウナモノデアリマシテモ、又準備手續ト云フモノヲ經ル場合モアルノデアラウト思フノデアリマス、ノミナラズ多少此職權ヲ加味致シマシテ、證據ノ蒐集、或ハ又此訴訟ノ審理ヲ敏速ニスルト致シマシテモ、苟モ攻撃、防禦ノ方法ガソコニ對立シマスル以上、一方ニ攻撃ノ證據ヲ出セバ防禦ノ證據モ出テ參リマシテ、隨分是ハ普通訴訟デアルト致シマシタナラバ、複雑ナル問題ガ起ルデアラウト思フノデアリマス、私共ハドウモ在來ノ經驗ニ依リマス、此モノハ獨立サスコトガ爲替流通、手形流通ノ上ニ於キマシテハ、當業者ニ取ッテ頗ル便利デアアル、又訴訟ノ敏速ヲ圖ルト云フ、此改正ノ趣旨ニ至極舊法ハ合シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、政府ガ特ニ之ヲ削除スルト云フコトニ付キマシテ、爲替訴訟ノ弊害、或ハ之ヲ普通訴訟ニ直スコトガ適當デアルト云フコトニ付テ特別ノ理由ガ御有リナサルコトト思ヒマスガ、此點ヲ一應伺ッテ置キタイノデアリマス

○長島政府委員 洵ニ御尤ナ御尋デアリマス、實ハ爲替訴訟、證書訴訟ノ廢止ノ問題ハ十分取調會ノ方デモ研究致サレタノデアリマス、ソレデ大體調査ノ結果ニ依リマス、爲替訴訟並ニ證書訴訟ニ付キマシテハ、缺席判決ノ數ガ

○長島政府委員 洵ニ御尤ナ御尋デアリマス、實ハ爲替訴訟、證書訴訟ノ廢止ノ問題ハ十分取調會ノ方デモ研究致サレタノデアリマス、ソレデ大體調査ノ結果ニ依リマス、爲替訴訟並ニ證書訴訟ニ付キマシテハ、缺席判決ノ數ガ

○長島政府委員 洵ニ御尤ナ御尋デアリマス、實ハ爲替訴訟、證書訴訟ノ廢止ノ問題ハ十分取調會ノ方デモ研究致サレタノデアリマス、ソレデ大體調査ノ結果ニ依リマス、爲替訴訟並ニ證書訴訟ニ付キマシテハ、缺席判決ノ數ガ

○長島政府委員 洵ニ御尤ナ御尋デアリマス、實ハ爲替訴訟、證書訴訟ノ廢止ノ問題ハ十分取調會ノ方デモ研究致サレタノデアリマス、ソレデ大體調査ノ結果ニ依リマス、爲替訴訟並ニ證書訴訟ニ付キマシテハ、缺席判決ノ數ガ

續ノ簡便ト云フコトヲ大ニ圖ツテ居ルカラ、ソレデ補ヘルデヤナイカ、斯ウ云フコトデ實ハ廢止シタ譯デアリマス

○谷原委員 今一點伺ヒタイノハ、此強制執行即チ六篇以下ノ規程ハ別ニ御編成ニナルト云フ御方針ニ承リマシタガ、其際ハ競賣法ト云フモノヲ別ニ獨立サセテ置クト云フ御豫定デアリマスカ、或ハ強制執行ト競賣法ト云フモノハ或ハ合一ニ御制定ニナルト云フヤウナ御豫定デアリマセウカ、又此強制執行或ハ競賣法ト云フモノハ、隨分是ハ缺點ガアリマシテ、現ニ六百四十五條ノ如キハ判決ガ確定シテモ、アノ規程ニ從テ執行ガ出來ズ、五年モ六年モ苦シデ居リ、又アレガ惡用サレテ殆ド實效ガ舉ツテ居ナイト云フ例ノ澤山アルコトヲ、吾々其職務ニ關係ノ有ル者ハ其弊ヲ認メテ居リマス、是等ノ強制執行、競賣法ト云フ規定ノ改正ハ引續イテ政府ハ御提案ニナル御考デアルカ、又御提案ニナルトスレバ是ガ時期ニ付テ分ツテ居ル程度デ宜シイ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○江木國務大臣 洵ニ御尤ナ御尋デゴザイマシテ、先程一寸此點ニ付テ申上ゲタノデアリマスガ、強制執行ノ點竝ニ競賣、是ハ非常ニ相互ノ間ニ關係ノ深イモノデアリマシテ、而シテ共ニ今日ノ現行法ニ於キマシテハ頗ル不備ヲ感ジテ居ルノデアリマス、マダ細イ所マデノ調査ハ出來テ居リマセヌガ、

大體ニ於キマシテハ御説ノ如ク強制執行ノ篇ト競賣法トヲ一絡ニ致シマシテ、一ツノ法律ニ致シマシテ、民事訴訟法ノ中カラ引離シテ單行法ヲ作ルノガ適當デアアル、斯ウ云フヤウナ説ガ多イノデアリマシテ、自然サウ云フ結果ニナルコトト思フノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス、但シマダ細目ニ互リマシテ改正ノ要項ガ整頓サレテ居ルト云フ状態デアリマセヌノデ、別ニ明年度ノ議會ニ之ヲ提出スルコトガ出來ルト云フ御約束ハ出來マセヌガ、成ベク急ギマシテ、出來得ベクンバ民事訴訟法ノ施行ガ大正十七年デアリマシナラバ、ソレマデニハ案ヲ得テ施行ノ運ビニ至レバ大變幸デアアル、斯様ニ當局デハ今日考ヘテ居リマス

○谷原委員 各條ニ關スル質問ハ留保致シマシテ、私ノ質問ハ是デ一應打切リマス

○齋藤委員長 一寸磯部君ニ伺ヒマスカ
○磯部委員 長クハナイガ、御答ニ依ッテ長クナルカモ分リマセヌ、若シ都合ガ惡ケレバ後トデモ宜シイ、併シ午後ト云フコトハ、重要案件ガ上程サレルカラ、午後ト云フコトハ考ヘモノダラウト思ヒマス

○齋藤委員長 一寸御諮リ致シマスカ
ガ、午後ハ本會ガアリマスノデ、明日ノ午前十時カラ開カウト思ヒマスガ、如何デスカ

(「宜イデセウネ」ト呼フ者アリ)

○齋藤委員長 ソレカラ是ハ御承知ノ通り、非常ニ私權ニ關スル重要法案デアアルノデ、大分浩澁ナモノデアリマス、ソレデ此質問ノ大體ハ御濟マシテ願ッテ置キタイト思ヒマス、先ヅ總體ノ質問ヲ明日、明後日ニ願ヒマシテ、明週ニハ各條ニ入ッテノ質問ヲシテ貫ヒタイト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○齋藤委員長 ソレデハ明日午前十時カラ開キマス、散會致シマス
午後零時一分散會

大正十五年三月十一日印刷

大正十五年三月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社